

館山フラメンコ日記2015

こんにちは！東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会です！



1984年、10名に満たない人数で設立されたスペイン舞踊部は、今年で31年目。現在は1年生から4年生まで約60名が在籍していて、フラメンコのバイレ（踊り）を中心に活動しています。27の言語を学ぶことができる東京外国語大学の学生らしく、部員はスペイン語科に限りません。様々な言語を専攻している部員達は、みんなフラメンコへの熱い情熱をもって練習に励んでいます。



練習は週2回、大学の舞踊場で学年毎に行い、先輩が後輩に指導するというスタイルで縦のつながりを深めています。さらに月3回、部創立当時よりお世話になっている、本場スペインでも活躍される岡本倫子先生率いる舞踊団のレッスンを受けています。

館山フラメンコ日記2015

部の活動日には、舞踊場で朝から夕まで熱心に自主練に取り組む部員の姿がみられます。



カンテ研究会は、カンテ（歌）、パルマ（手拍子）、ギター、カホン（打楽器）による演奏でフラメンコにアプローチするサークル。週1回集まって楽しく活動しています。メンバーの多くはバイレのスペイン舞踊部と兼部ですが、中にはカンテやギターを専門とする人もいます。

「研究会」の名のとおり、フラメンコの真髄を表現するためにはどうすればいいかを日々探究し、学年の枠を超えて互いに切磋琢磨しています。



館山フラメンコ日記2015

スペイン舞踊部・カンテ研究会は普段の練習日は違いますが共にひとつの舞台をつくるため活動しています。年間の主な発表の場として4月のリサイタル、11月の外語祭に加え、地域のイベントに出演するほか、この全国学生フラメンコ連盟（FLESPON）のイベントに毎年参加しています。

中でも8月の館山合宿は、夏らしいイベントが目白押しで、夏の風物詩となっています。他大学のみなさんとひとつの舞台をつくりあげるとはとても刺激的で勉強になり、毎年楽しみにしています。



今年が初の館山となる1年生、最近めきめきと上達を見せる2年生、留学前の思い出に同期みんなで参加する3年生、そして今年で館山を卒業する4年生、みんな今年も夏の館山を盛り上げに行きます。

みなさんぜひ、私たちの熱いフラメンコを見にいらしてください！心に届く舞台をお届けします。